



第三中学校だより

校訓

○健康な体

○豊かな心

○たゆまぬ学習

学校教育目標 **気づき・考え・挑戦する** ～新時代を生きる力を創造する～

和光市立第三中学校 〒351-0104 埼玉県和光市南2-2-1
TEL 048-461-3306 ホームページ <http://3chu.wako-city.ed.jp/>
相談室 TEL048-461-6698

令和6年5月1日発行

「持ちつも持たれつ」の気持ちを持つことについて

校長 近藤 克代



左の写真は、1年生の理科の様子です。植物の観察をしながら、植物（生物）の仕組みを学ぶ単元を学習しています。この光景は、入学したばかりの1年生が理科（第2分野）の最初の取組として毎年恒例であり、この日のために、本校の植物たちは、生徒に観察を志願するかのように新緑（若葉）を芽吹かせ、色とりどりの花を咲かせています。そして、今年も、1年生の若々しく元気な笑い声が、澄んだ青空に響きわたり、春が終わり初夏を迎える穏やかな時を感じられる出来事でした。冒頭の「持ちつ持たれつ」の文言ですが、これは、ある新聞記事に掲載されていました。その新聞記事の一部をご紹介します。『植物は花を咲かせ、雄しべの花粉を雌しべに受粉させて種を作る。その際、風を利用するものを「風媒花（ふうばいか）」、虫を誘い花粉を運ばせるものを「虫媒花（ちゅうばいか）」と呼ぶ。＝中略＝カラスノエンドウは受粉以外の植物と虫の関係も知った。葉の付け根、托葉部に極小の蜜腺がある。そこから蜜を出して蟻（アリ）に与え、害虫から身を守ってもらうという。「持ちつ持たれつ」人間じみた自然界の営みもまた、いとおいしい。』4月後半から、委員会活動が始まり、第1回の生徒集会では各種委員会の委員長が自身の目標や、委員会の今後の活動について説明やお願いを伝え、部活動でも本入部を終え、1年生が新たに加わり3年生を中心とした各分野での活動が始まりました。更に、授業もガイダンス時期を終え、各教科の指導計画を基に授業が本格的にスタートしたのです。ゆえに、新年度が始まったばかりのこの1か月間は、諸活動において、新しい先生や新しいクラスメートとの出会い、先輩や後輩といった異なる学年との関わりを持つことにより、自分自身の得意なところ、不得意なところを改めて知り、悩んだり迷ったりする時期でもあります。一方では、教室をのぞくと、積極的に意見を述べたり、間違えに気づき改善点を皆で話し合ったり、できない問題などを互いに教え合ったりしている場面も見られました。

本校の「目指す生徒像」は“「新時代を生き抜く力」を創る生徒”とし、『①よりよい未来に向けて、自分で考え、自分で選択し、最後までやり遂げる生徒②自他の生命を尊重し、思いやりと感謝の心を大切にする生徒③自分の夢や理想の現実に向けて、自ら挑戦し一生懸命に取り組む生徒』を目指し、日々の学校教育活動を行っています。『自分で〇〇』『自ら〇〇』という生徒の自主性を示す文言には、諸活動を通して育んだ人間関係を形成する力や、豊かな言語活動を通して豊かな心が礎となると考えるならば、「持ちつ持たれつ」の気持ちもまた育成の一つの考えとっております。全ての教育活動には、目的や目標などあり、一人一人が主体的に活動する場面が必ずあります。ゆえに、じっくりと1年間かけて、共に学ぶ時を大事にしながら様々な場面で活躍ができるよう努めてまいります。



※カラスノエンドウは本校のあちらこちらで観察することができます。